

第1回智頭町行財政改革審議会議事録

日時 平成21年11月27日(金)

10時00分から12時6分

場所 智頭町保健・医療・福祉総合センター

「ほのぼの」ひだまりホール

次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 町長あいさつ
- 4 委員の紹介
- 5 会長及び副会長の選任
- 6 諮問
- 7 事務局員紹介
- 8 事務局から資料説明
 - (1) 智頭町の概要
 - (2) 智頭町付属機関設置条例と智頭町行財政改革審議会規則
 - (3) 智頭町役場の組織・人事
 - (4) 智頭町の財政状況
 - (5) 現在の行財政改革プラン
 - (6) 智頭町百人委員会(第一回報告書等)
- 9 次回審議会日程・審議事項の確認
- 10 委員の自己紹介等
- 11 閉会

委員名簿

江藤 俊昭(エトウ トシアキ)	山梨学院大学 法学部 政治行政学科 教授
岡田 一(オカダ ハジメ)	智頭町 NPO新田むらづくり運営委員会 理事
坂出 徹(サカデ トオル)	鳥取商工会議所 専務理事
寺谷 寛(テラタニ ユタカ)	新日本海新聞社 取締役 西部本社代表
藤田 安一(フジタ ヤスカズ)	鳥取大学 地域学部 地域政策学科 教授
前田 悦子(マエタ エツコ)	元鳥取県副出納長 兼 出納局長

○石谷副町長

まだ前田委員がお見えでございませぬが、時間となりましたので、ただいまから、第1回「智頭町行財政改革審議会」を開会いたします。本日はお忙しい中ご参集をいただき、誠にありがとうございます。私は、智頭町副町長の石谷雅文でございます。後ほど、この審議会の会長をお決めいただきますまでの間、議事の進行をつとめさせていただきます。次第では、町長から委員の皆様へ委嘱状を交付することとなっておりますが、いま臨時町議会開会中でありまして、町長が参りますまで今しばらくの時間をいただきたいと存じます。町長が参りますまでの間、事務局から「智頭町の概要」について説明申し上げます。

○河村

略

○石谷副町長

町長が参りましたので、委員の皆さんへ委嘱状を交付させていただきます。

名前を申し上げますので、よろしくお願ひします。

江藤俊昭委員、お願ひします。

○寺谷町長

委嘱状 江藤俊昭 智頭町行財政改革審議会委員に委嘱する

任期は平成23年11月26日

平成21年11月27日 智頭町長寺谷誠一郎

よろしくお願ひします。

(以下 岡田一委員、坂出徹委員、寺谷寛委員、藤田安一委員に順次委嘱状を交付)

○寺谷町長

失礼いたします。本日、臨時議会がありまして、色々と質問があり議事が延びてしまい開会に遅れてしまいました。誠に申し訳ありませんでした。

実は、智頭町は百人委員会というものをつくりまして、いわゆる予算というのは本当に町民の気持ちが入っているかどうか疑問に思い、文化、教育、観光など色々な分野で、町民の方に自分の得意な分野、興味のある分野に手を挙げてもらい、委員会をつくり2年目を迎えております。

委員会は非常に活発で、町民が自分達の町のことを一生懸命考えています。この中の良い意見に対し予算をつけるという、ちょっとダイナミックで全国でもあまり例を見ない取り組みをしています。町民の出した意見に予算をつけ、最後まで責任を持ってもらう。そういう企画をいたしました。そういった中でこの小さな町が単独で生きていくということです。しかし、農林業の衰退、智頭町の93%を占める森の活用などなかなか厳しいものがあります。

こういう地域の中で行っている百人委員会の中に、行財政改革部会があります。実は、その部会から提言、アドバイスを受けました。その中で、「全国的なレベルで職員というものはどうあるべきか。」また、「全国的なレベルで町議会議員というものはどういうスタンスでそれぞれのまちを運営していくの

か」というそんな意見が出ました。しかし、この部会は町民の方だけです。どうしても、小さい町の中だけでのディスカッションになります。しかし、非常にすばらしい意見が出ますので、もう一步ステップアップして、広い視野とご見識をお持ちの先生方をおよびし、忌憚のない全国的な立場から智頭町を見ていただいて、この小さな町はこうあるべきだということで、実は、国や地域の行政改革にタッチをしておられる江藤先生。鳥大で色々な地域をご覧の藤田先生、智頭町のNPO法人で非常に頑張っておられます岡田さん、そして経済界からは大きな視野・経験をお持ちの坂出さんをお願いしました。そしてマスコミから広い見聞をお持ちで智頭町出身の寺谷さんを、もうひと方、まだお越しでないですが県のOBの女性の方でございますけど前田さん。

そういった幅広い見地から、ダイナミックなご意見をお出しただいて、それをオープンにさせていただくという試みをいたしました。私はこういった小さな町で、町民のために体を張って生きておりますが、ぜひ先生方にこれから私のお願いいたします諮問について、答申を頂ければとこのように思っております。

○石谷副町長

ありがとうございました。次第では委員の紹介となっておりますが、先ほど名刺交換もなされておりますので、最後に自己紹介をかねてこの審議会に対する思いを述べていただけたらと思います。

それでは、次に、この審議会の会長を選任していただきたいと思います。審議会の会長につきましては、委員の皆様の互選によりお願いすることになっております。どなたかご推薦をお願いできないでしょうか。ご意見はございませんか。

○岡田委員

江藤委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○石谷副町長

ただいま、江藤委員というご意見がございましたが、委員の皆様いかがでございましょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、満場一致で江藤委員が会長と決定いたしました。恐れ入りますけれども、江藤委員は、こちらの会長席へお移りいただきたいと思っております。

○石谷副町長

会長選任と併せまして、会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代理する副会長を互選で選任することとなっております。江藤会長、どなたかご推薦をお願いできないでしょうか。

○江藤会長

私といたしましては、藤田委員に副会長をお願いしたいと思っております。皆様、ご了解をいただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

そういうことで、藤田委員よろしく願いいたします。

(前田委員来場のため委嘱状交付)

○石谷副町長

会長、副会長が決まりましたところで、寺谷町長から江藤会長に諮問していただきます。町長、よろしく願いいたします。

○寺谷町長

智頭町行財政改革について

本町が今後、行財政改革をより一層推進していくため、下記の事項について意見を求めます。

1. 真に必要な公共サービスと新しい住民自治のあり方
2. 職員の人事管理・給与制度のあり方
3. その他智頭町行財政改革に必要なこと

以上 よろしく願いいたします。

○石谷副町長

ありがとうございました。ここからの議事進行は、江藤会長にお願いいたします。

○江藤会長

今、3点諮問を受けましたが、今後の審議会の予定の確認をしたいと思いますが。

○石谷副町長

わかりました。審議会は月1回ペースで開催していただきたいと思いますので、今日を含めまして8回審議会をお願いしたいと思います。そうしますと来年の6月に答申を頂けたらと思いますのでよろしく願いいたします。

○江藤会長

わかりました。

それでは、次第にそって今後の我々の活動に関わる基本的事項等につきまして、事務局から少し時間をかけてご説明をいただきたいと思っています。

以下略

○石谷副町長

説明に入る前に事務局職員の紹介をさせていただきます。総務課長の藤原でございます。

以下略

○石谷副町長

それでは、事務局から資料の説明をさせていただきます。

以下略

・条例について

智頭町の付属機関として智頭町行財政改革審議会をおく。

担当する事務 行財政改革の推進、町の重要課題等に関する審議

・規則について

所轄事務 町長の諮問に応じ、行財政改革に関することについて調査、審議し、その結果を答申する委員は8人以内（本会は現在6人 学識経験者、町長が必要と認める者）任期2年 審議会の会議は会長が招集し議長となる。以上です。

○江藤会長

みなさん、何かありますか。よろしいですか。

確認ですが、この条例は9月25日にできたものですか。その他の審議会についての条例設置はありますか。

○河村

はい。9月25日にできたものです。その他の付属機関としての審議会の設置は今回が初めてです。

○江藤会長

規則には書いてありませんが、確認ですが、この審議会は公開ですか。また議事録みたいなものは作成しますか。

○石谷副町長

審議会は公開です。委員の皆様には、事前に口頭でご了解いただきましたが、この審議会は公開で行いたいと思います。

また、議事録も作成したいと思っております。もちろん委員の皆様にも最終確認をしていただいた上でホームページ等に公開していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○江藤会長

ぜひ内輪の論議ではなく、住民の方も来ていただいていますのでよろしくお願いいたします。

一点、私会長ですが、規則中にある「会長が召集」を「会長が招集」に訂正しておいていただけませんか。

○石谷副町長

失礼いたしました。

○江藤会長

それでは、続いて役場の組織・人事について、お願いします。

以下略

○江藤会長

時間の方も残り少なくなってきました。このままだと説明だけで終わってしまいますので、もう少し要領よくいきたいと思いますのでよろしくお願いします。それでは、財政状況をお願いします。

○寺坂

失礼します。資料番号4に基づき智頭町の財政状況を説明させていただきます。

(資料番号4の資料により説明)

平成20年度の普通会計決算状況について、次の項目について説明

[歳入 主なもの 町税、使用料手数料、繰入金、地方交付税、地方譲与税、国庫支出金、県支出金。

地方交付税が会計の半分を占め、によって町の財政が大きく左右される]

[歳出 主なもの 人件費、公債費、物件費、補助費、普通建設事業費、積立金、繰出金

財政指標の推移 町債基金残高]

○江藤会長

ありがとうございました。ご質問はありますか。

○坂出委員

退職手当組合負担金は年度によって違ってくるものですか。

○寺坂

はい、そうです。違います。辞めた人が増えた年の負担金は増えてきます。

○坂出委員

基金の積み立てというようなことはしていないのですか。

○寺坂

智頭町は、退職手当組合に一定の割合で原資を拠出し、実際の運営は組合が行っているため退職基金はありません。

○藤田委員

これは普通会計ですよ。一般会計だけでなく企業会計、広域企業会計はどうなっているのか知りたい。そちらの方が今は重要になっていますよね。今回、説明はありませんか。

○寺坂

今回は準備しておりませんので次回にでも、報告させていただきたいと思います。

○江藤会長

次回と言わず、郵送でも報告していただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

○寺坂

わかりました。

○江藤会長

それともう一つ気になるのは、最近では職員の給与が下がるのが通常の傾向ですが、職員給与が上がっていますよね。

○寺坂

職員給与につきましては、人数自体は減っていますが、以前は15%の大幅な給与カットをしていました、そのカット率が大きいということもあり、だんだん戻しています。そのため増えています。

○江藤会長

この時期にカット率を戻しているということですか。理由とかは。

○寺坂

財政状況等を見ながら判断しております。基金等も少し積めてきていますので、17年度の15%の大幅カットをもどしてきています。職員の方も厳しく、県内でも最大の15%のカットです。それをだんだん戻し、今年は4～8.5%に戻しています。

○藤田委員

この財政状況は単年度だけの報告になっていますよね。歳入・歳出。だから、小さい町だとその年が何かあるとすぐに数字に動いてしまうのですよね。だからもう少し長いスパンで、ここの財政指標については、確かに平成15年から20年ですけど、歳入と歳出のところは昨年と比べて本年度ということで、短すぎるので、昨年に比べて今年だけでなくもう少し長く見たいのですよね。十分に比べられる検討できる資料が必要です。

○寺谷委員

病院事業会計への繰出金がかなり大きいと思う。
病院事業会計もあるので、もっと長いスパンでの検討が必要だと思います。また資料の準備をお願いします。

○寺坂

病院の改革プランを作成しまして、それに基づきやっています。と言いますのも、病院事業の会計は平成 19 年度進捗率が 41, 2%という結構大きな赤字を出した。坂出委員にも病院の改革プランには係わっていただきましたが、病院の特例債を返すため一般会計から病院会計への繰り出し金を増やした。19 年度は約 2 億円だったが、20 年度は 4 億 3 千万円繰り出した。そのうち交付税で措置されたものが約 2 億円である。

○坂出委員

私、係わっていたものですから、県内の公立病院の中で智頭病院には特別な起債を認めてもらいまして、資金繰りをしました。ここは（一般会計から病院事業会計への繰り出し）全体の中でも焦点になるのではないのでしょうか。

○江藤会長

それでは、行財政改革プランをお願いします。

○寺坂

続きまして資料 5 の行財政改革プランについて説明いたします。
(資料番号 5 の資料により説明)
行財政改革プランの作成は 17 年度末、今年度（21 年度）が最終年となる。
これを平成 17 年総務省から作成要請のあった集中改革プランに置き換えている。
智頭町の財政状況について
事務事業の再編・整理、廃止・統合
民間委託等の推進（指定管理者制度）現在は 7 施設
定員管理・給与の適正化
行政組織の見直し
歳入の確保対策（税収確保、使用料の見直し）
過疎バス対策
保育園の統合（4 園を現在 2 園に）

○江藤会長

何かありませんか。

○藤田委員

平成21年までのプランですけど、そろそろ目標が、どこが達成できて何が達成できなかったのか。その問題点はいったい何なのかということも今後、総括という姿勢で取り組む必要がありますよね。この4、5年間、目標達成を目指してやってきたと思うんですけど、そろそろ終盤ですので、まだ不十分な点はどこに課題があるのかというような議論をしていかないといけないなど、一定の到達点を示していただきたいなと思います。

○石谷副町長

承知しました。

○寺谷委員

それが一番重要ですよ。そのあたりを今後やっていく必要があると思います。

○岡田委員

病院の経営につきましても、連結決算を出していただけたらと思いますし、計画の対実績を平成21年終わりますので、そろそろやってもらいたいと思います。

○前田委員

病院のことだけでなく、やはりどうしても報告は良いことを報告しがちになるのですよね。保育園の統合などの中での弊害もあると思うのでそういうことも教えてほしい。

○寺谷委員

数字だけではないところもだしてもらいたいです。

○藤田委員

何でも削減でやっていきがちですけど、智頭町の未来を考えると、何を理念にまちづくりをしていくのか。智頭町はどうあるべきか。選択と集中が大切ですね。削減・削減だけでなく、そこには限られた財源をしっかりと入れて未来の芽を育てることも必要。それを頭にいれて今後どうするべきかプランの検討をする必要がありますね。

先程財政について、健全化に向かっているとの説明であるが、やはり問題点が何かしら深刻な問題が、先程の病院などあるはず。その報告を良くなっていますだけでなくしっかりと報告をしてほしいです。

○岡田委員

病院の詳しい資料を・・・

○江藤会長

ちょっと全国的な話になりますが、改革プランを作ったときに総合計画との連動はという話がないんですよね。……プランだけになっていないか。毎年どうなっているかの評価をしないといけない。事務事業の評価をし、どう落としていくか。その話がないから、どう進んでいくのかわからないのだと思う。これは毎年やらなければならないし、公表もしないといけない。智頭町の行財政改革の進め方が見えてないというか私だけが知らないのか。教えていただきたい。せっかくつくったものが……

智頭町は自分たちできちんと作っていて、集中改革プランと連動させたと、総務省に言われてつくったものではないと胸を張ればよい

事務事業の数は、200ぐらい。

○寺坂

はっきりとした数は把握していません。

○江藤会長

事業それぞれに評価、議論をしていますか。こういう仕事に対しいくらコストがかかり成果が上がったか。

○寺坂

すみません。全ての事業の評価をしていません。

○江藤会長

今後の百人委員会の議論も具体的になって

○前田委員

総合計画にしたがって議論等していないのですね。

○寺坂

智頭町の現在の総合計画は、平成14年度から平成23年度まで10年間の基本構想と平成14年度から平成18年度まで5年間の基本計画はありますが、実施計画を作成してありません。

○前田委員

どこに進むのかということが、そこが見えないとどういうふうにしていくのかと。その辺はほしいですね。

○江藤会長

おそらく、今後の審議会でのポイントとなると思います。

ありがとうございます。それでは、次をお願いします。

○米本

失礼します。智頭町百人委員会報告書により報告させていただきます。

(智頭町百人委員会報告書により説明)

寺谷町長就任後平成20年7月28日設置要項

委員募集(公募)に142名応募(後に2名辞退)

平成20年12月14日 公開予算ヒアリング開催

平成21年3月25日 町長に提言、報告書提出

平成21年度は別に委員を募集 12月に予算ヒアリングを予定

○江藤会長

ありがとうございました。岡田委員は係わっておられるとか。

○岡田委員

委員会の方には入っておりませんが、非常に良いすべりだしをしたと思っています。百人委員会の提言を反映できるようにすすめていただきたいと思います。

○藤田委員

百人委員会については、毎月1回の会を持たれたい半年ぐらいですかね審議をされ、非常に意義があると思います。その中で出された提言を実行していくということですけど、心配なのが一期目を区切り、また半年後に百人委員会をつくる。そういうふうにしていくことについて、あまりこれをやりすぎるとせっかく百人委員会が出された意見というものがしっかりと練られていかない。要するに反映されないうちにまた、新たな百人委員会ができるということになってきますと、百人委員会に出た委員の人たちが、自分たちが百人委員会で言ったことが何かこう、あまり練られないで単に住民の声を聞くだけになっていないだろうか。かえって短期間で委員会をして、また新しい委員会をつくるということをされ過ぎないように気をつける必要がある。悪い言い方ですけど、住民のガス抜きとして百人委員会を設置するとこれはかえって逆効果になってしまうので、町としてはじっくりと精査し実行する必要がある、この点に重点を置いて次から次へと百人委員会を頻繁につくらない方が良いのではないかと思います。

○寺谷委員

私もそう思います。非常に良い取り組みだと思いますが、ある程度、継続してじっくり知恵を出し合っていく、そこが重要だと思います。委員会については、やはり短期間ではなく2~3年が良いのではないのでしょうか。

○藤田委員

私の経験上、鳥取市で百人委員会を作られたのですよね。最初、百人委員会の委員になりました。百人委員会は画期的なことだったのですよね。良いことだなあと思っていて、5、6回ぐらい審議が終わった時点で市長に提言をし、おわり、すぐ次の委員会を立ち上げてしまったのですよね。メンバーもゴロツと変わったのですよね。そういう事を繰り返していると私は一瞬、不信感を覚えましたね。何度も委員会を立ち上げて出てくる意見はそんなに違わないです。住民の意思はある程度、固まって提言、意見が出てきます。むしろそれをしっかりとどう行政に反映させるかが必要であるにも係わらず、その所をしっかりとやらないと、何のための百人委員会か、住民の意見を聞くだけの百人委員会と思われてしまっは逆効果になる。

○寺谷委員

やはり先程藤田委員が言われましたが、行政側の姿勢が大切だと思います。具体的に出た意見をどう吸い上げるかが重要な要素ではないか。智頭町はワーキンググループ等でよく話し合われているようだが。

○岡田委員

それから、今おっしゃるとおり、やはり委員の任期を一年と言わず二年にしてもらって、実際に事業に加わってもらおうと、汗を一緒にかいてもらうことが大切ではないかなという思いがあります。

○坂出委員

教えていただきたいのですが、住民の中からだされた意見を事業にし、その事業はすぐできるものから長期的なものまでありますが、そのあたりの取り組みの仕分けは誰が判断をしてやっていくのかと。

○江藤会長

私が答えてはいけませんが、そこはやはり行政、政治家になりますかね。

○石谷副町長

先程、私は藤田委員からご指摘のあった住民の意見を聞くだけではなく行政がしっかりと受け止めなければならないという事は非常に大事と思います。私も鳥取市の百人委員会にタッチしていました。確かに鳥取市の場合は言いつばなしなのですね。どちらかという。そして、良い意見があった場合、それを事業につなげるかどうかは市サイドの裁量なわけ。智頭町の場合はまず、これはと思った意見があったら予算をつけ事業にまで結びつけると。こういう前提で委員会がもたれている。そこが鳥取市と智頭町との場合の違うところかなと。事実、昨年度は事業になっているものもありますし、しかしご指摘のように、毎回毎回新しいアイディアが出てくることは難しい訳で、やはり出てきた住民からの意見はじっくりと熟成させてそして事業化しようと、そういうことが必要だと思います。

○寺谷町長

あの、2年目の方ね、1年目に協議し2年目になります。その中にはリタイヤされる方もありますし、新しい方が入ってもきます。そこでちょっと困ることがあります。新しい方が提言したものが、それは2年目の方にとってはもう協議したわと。その辺がちょっと考えなければいけないなあと。また、3年目になると新しい人と以前からの人と間に違いがあり、その辺がこれから気をつけていかなければならないことだと思っています。

○江藤会長

ありがとうございました。私も百人委員会をいくつか知っていますが、百人委員会はだいたいどこも上手にいかない。今回ここは予算につなげているのがすごい。しかも公開で、住民の方が見ている中で必要なものを事業につなげざるを得ない。ここが、予算に変えていくということが滅多にないですね。この審議会も対象になるかどうかかわからないですが、なるのかな。

○前田委員

本当に予算につなげているのがすごいですよね。

○江藤会長

報告としてはこれで終わるのですが、今日の資料6、7については報告事項ではないですか。

○河村

資料6、7については報告事項ではなく、目を通しておいってください。事務局の報告事項は以上です。

○江藤会長

報告事項については、以上ということですので、最後にそれぞれ委員の皆さんに諮問事項について、町の報告を受けて質問等も含めて自己紹介を兼ねてお願いします。岡田委員。

○岡田委員

智頭町で生まれ育ち、智頭町の事が分かっているようでそうでない部分もあると思う。人口が減っているのをどうにかしたい。百人委員会、1/0村おこし運動をさらにPRできるように、智頭の振興のためになればという思いで今回の審議会に参加させていただきました。一緒に勉強させていただけたらと思っています。

○坂出委員

肩書きには商工会議所となっておりますが、経済界では新人でございまして、県の職員として33年勤めておりました。最後の2年間は病院事業管理者をしまして、去年智頭病院改革プランにも携わりました。智頭町の財政規模で毎年3億4億の繰出金を出し、町の施策はやっていけるのかという思いがあ

ります。これらについても、これからの審議会で議論できたらと思っています。

○寺谷委員

この地元生まれ育って、還暦を迎え、年ごとに智頭町は良いところと思います。智頭町は、谷が深く自然も豊かです。もうひとつ非常に重要なのは、まちづくり20年の歴史と、1/0運動の10年の歴史、なんといっても人材はすばらしい財産だなど。すぐ思い出すのは、平成の合併の中で・・・単独で頑張っている。・・・住民との共同参画・・・色々と勉強していきたいと思う。日本海新聞も地域あってこそだと思っておりますのでよろしくお願い致します

○前田委員

坂出委員と一緒に県庁で40年間、色んな町村に伺ったのですが単独で頑張ってらっしゃるところが何かすごく好きでして、身近に感じていることもありますし、何か改革にしても小さなところの方が目に見えてぱっと出来るところもありまして、私にどういう事ができるかはとても不安ですがひとつでもお役に立てれば良いかなと思って参加させていただいています。

○藤田委員

私と智頭町とは縁がかなり深くありまして、10年ほど前ですけど、当時国営であった郵政事業をいかに国民の生活に安全・安心にどう生かすか。民営化するというだけではなくて、国が責任を持って地域の安全・安心を保障していく。その装置として郵政事業は大切であるというように思っていました。そのために智頭町でひまわりシステムというのが考え出されて、全国に発信していった訳です。智頭町に視察に行かしていただいて、これこそが郵政事業のあり方、これを収益確保のために民営化するというのは大きな問題ではないかと思っておりました。その視察が、私が智頭町に係わった最初のことでした。

その後、智頭町はこれからの日本の地域を代表するようなそういう地域になっていくのではないかという思いから、中島集落、そして岡田委員のおられる新田集落に入らせていただいて町づくりの学習と研究の場としてこの智頭町を使わせていただきました。私にとって智頭町は色々なことを教えてくれる先生のような地域であります。もう一つは、癒しの空間として良いなど、家族を連れてたびたび智頭町にお邪魔するという機会もありました。智頭町はこれからの日本の村づくり町づくりのモデルとして私は発展するのではないかなと思った次第です。

今回、何かの縁ということで喜んで委員を受けさせていただきました。ただ智頭町とは人とのつながりしがらみは全くありません。だから客観的に1人の人間として智頭町を見られるという立場でもあります。外から見て智頭町を愛している人間として智頭町が良くあってほしい。色んな合併の時の住民同士の対立、住民と行政の対立もありました。これは大変不幸なことです。これからは一体となってまちづくりをやっていってほしいという思いをこめてこの審議会に出席させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。

それから公開の場で住民の方にもきていただきました。私達は色々議論致しますけれども、住民の

方々もこれを聞いて考えていただきたい。この委員会が終わる頃には傍聴の方で会場が一杯になるような状況になり、一緒になって考えていってもらいたいと思います。

○江藤会長

智頭というのは住民自治を全国へ発信しているまちだと思っています。今回、行財政改革審議会の委員をさせていただけるのは非常に光栄だと思っています。実は小学校の時の先生が智頭にいるのですね。頑張っている姿を見せたいのですがどういう風に評価されるか……………。

今の智頭の百人委員会は予算につなげている、しかも公開の場で。国が事業仕分けを今しているがこれは地方の方が先なのですよね。

今、盛んに地域主権と使われますが、私達にすると意味不明なのですよね。国民主権、国家主権は分かれますが、地域主権はイメージとしてはわかるが言葉の意味はわかりませんね。自治型社会をどうつくるか。これから議論しますけれども。諮問の3点、見せていただきましたけど、新しい自治を作っていく事を議論しなければならないですね。職員とか議会とか、簡単にカットするのは簡単ですが、今後すばらしい智頭をつくるにはパワーアップしていかなければならないのですよね。職員も議会もその中で役割を確認した上で議論をしていきたいと改めて思いました。それから今後議論していく中で、総合計画との連動が大切だと思うのですよね。しかもそれは抽象的な総合計画ではなくて、年次ごとに計画を明確にする。自治基本条例等明確にして議論していけば。そういう風に係わっていきたいなど。見ていくと財政状況は厳しいなと思いますが、百人委員会の広報の4コマ漫画をみていると明るい希望もあるなど。今後もよろしくお願いします。

ということでちょうど時間ですが、町長一言。

○寺谷町長

本日は不慣れなこともあり大変申し訳ありませんでした。一般の方もどのくらい来ていただいたら良いか分かりませんでしたが、次回からは百人委員会のメンバー等に呼びかけ会場を傍聴で一杯にしておきます。

私達は心底から、この町を良くしたいと思っております。先生方からのアドバイスをよろしくお願いします。ありがとうございました。

○石谷副町長

最後に次回の日程を決めさせていただきたいと思います。月に一回程度で開催をしていただきたいと思いますし、また年末でお忙しいのに申し訳ありませんが12月25日(金)に2回目の審議会を開催させていただけたらと思います。時間については、改めて通知させていただきます。

次回の審議事項については何か。あらかじめ決めておいていただいた方が。

○江藤会長

今回は諮問に対し何を議論していくか、論点の整理をしたいと思いますがいかがでしょうか。(各委員了解)

○石谷副町長

わかりました。では、次回は今後どういう論点で議論を進めていくか確認していただくということで、ありがとうございました。